

ふたばこども園

園だより 12月号

令和2年12月4日発行

文責園長 納富博文

ふたばっ子

※ 園だより「ふたばっ子」はホームページでもご覧いただけます。



ポインセチア

今年も残り一月となりました

冷たい風が吹き始め、冬の到来を感じます。早いもので今年のカレンダーは残り1枚となりました。今年は新型コロナウイルス感染症の流行や超大型台風の来襲、ゲリラ豪雨など、これまでに経験のない事態が次々と起こりました。特に新型コロナウイルス感染症は、これまでの園の行事や子どもたちへの教育・保育を大きく変更したり、削減したり、最悪は中止にしたりせざるを得ませんでした。本当に大変な一年でした。

新型コロナウイルス感染症は第3波の流行期になり、4月頃の第1波より陽性者や重症者が多くなつてきました。県内でも、0歳児から高齢者まで年齢を問わず、連日陽性者が出ていて、予断は許されない状況になっています。今一度、「手洗いうがいの徹底」、「3密を防ぐ」、「不要不急の外出をしない」など、新型コロナウイルス感染症対策の原点に基づき、真摯に立ち向かうことをしなければならないようです。休園や自由登園等の措置を取らないで済むように、子どもたちの安全と安心、そして命を守るために、ご家庭でもよろしくお願ひします。

子どもたちや保護者の皆様にとって、健康で穏やかな年末と年始が迎えられるように祈念しています。

「園の自己評価」にご協力ください (ーーー)

園では毎年『園の自己評価』を実施しています。これは、教職員が自分の一年間の教育・保育の取組や実践等について評価を行うものです。そして、保護者様からも教育・保育等について評価をいただき、その結果と教職員の自己評価の結果を参考に、一年間の教育・保育の振り返りを行い、次年度の教育・保育の改善に向けて検討していくものです。

昨年度のアンケート回収率は84.3%でした。80%以上を目指すという長年の念願が叶いました。保護者の皆様のご協力に感謝です。

自己評価アンケートは年明けの1月初旬に配布する予定です。今年度も皆様のご協力で回収率を昨年度(84.3%)以上を目指したいと思います。よろしくお願ひします。

なお、この自己評価の結果は、保護者代表や学識経験者、地域在住者より選出した5名の委員から構成された「関係者評価委員会」で、その評価の妥当性を審議していただき、その後、ホームページ等で公開することにしています。

内田伸子先生をお招きしての研修会

11月25・26の両日、IPU環太平洋大学教授やお茶の水大学名誉教授である内田伸子先生に昨年度に引き続き来園していただきました。今回で3年間連続のご来園となります。

内田先生は、ベネッセの「しまじろう」の開発者であり、NHKの「おかあさんといっしょ」の監修をされた方と、ご紹介した方が皆様には身近に感じられると思います。

25日は女子高の生徒(裏面資料1)や短大の学生、こども園の先生方にご講演をしていただきました。子ども主体の保育がいかに重要(裏面資料2・3)であるかを、たくさんの調査データや追跡調査、そして脳科学を交えて分析や研究をされ、その結果や内容をわかりやすくご教示いただきました。

26日は早朝から、ふたばこども園の教育・保育の様子を観ていただきました。また、先生方の質の向上を目指して取り組んでいる園内研修の実践を考察していただきました。

内田先生からは、「ふたばこども園は、子ども主体で、子ども中心の保育がしっかりと行われていて、子どもたちも生き生きしている。これからも子ども主体の自由保育を行っている園として、その拠点園やモデル園としてがんばって欲しい。」という、とても嬉しいお褒めの言葉を頂きました。

また、教育・保育の質を向上させるための園内研修の取り組みについては、「とても内容が充実している。先生方の質の高さにも驚かされた。」という、ありがたい評価をいただきました。

内田先生ご自身から「2日間旭学園やふたば園に来て良かった。來た甲斐があった。」と言われるほどの評価をいただき、職員一同これまでの保育に自信が持てるとともに、今後の励みや意欲になりました。これからも子どもたちのために、子どもたちに質の高い保育が提供できるように、職員一丸となり研鑽を積んでいきたいと思います。

職員の研修のために、降園時間を変更したり、お迎えの時間を早めたりなどの対応にご協力いただき、大変ありがとうございました。感謝申し上げます。

年末・年始のコロナ対策をお願いします

第3波を迎えた新型コロナウイルス感染症は、これまでの記録を更新しながら流行の拡大が続いている。これから年末・年始を迎え、人の動きが激しくなり、密になる機会も増えてくると思います。

どうか十分な感染予防や対策等をよろしくお願ひします。

1号園児は21日の終業式後、1月7日まで冬休みとなります。また、12月29日から1月3日までは、園は年末・年始休業になります。

もし、土・日及び祝日や園の休業日に、子どもや保護者、ご家族等が新型コロナウイルス感染症の陽性になられた場合や濃厚接触者になられた場合は、速やかに下記の携帯までご連絡をお願いします。

電話番号 080-7593-5513 です。よろしくお願ひします。

資料1

佐賀新聞
11.29 記事

「保育士の魅力」
内田教授が講演
佐賀市発達心理学
なじが専門のI
PU環太平洋大(岡山県)
の内田伸子教授(74)が
25日、佐賀市の佐賀女子高
高で保育コースの2年生
39人に「保育士の魅力」
のテーマで講演した。子
ども一人一人の成長速度
を見極めた子ども主体の
「自由保育」の重要性を
強調した。

お茶の水女子大名誉教授
でもある内田さんは、子育
てで愛用されているベネッ
（中島野愛）

「子どもへの質問の仕方や、
関わり方を学べた。これか
らの実習に生かしたい」と
意欲を見せた。企画した武
富律子教諭(42)は「なか
なか佐賀に普及していない
自由保育を、生徒たちが知
るいい機会になつた」と話
した。

セの「しまじろうペベット」
の開発などでも知られる。
内田さんはデータに基づい
て説明し、「自由保育を実
施した子どもたちの方に、
高い語彙力・運動能力が見
られた」と語った。生徒ら
はうなずきながらメモを取
っていた。

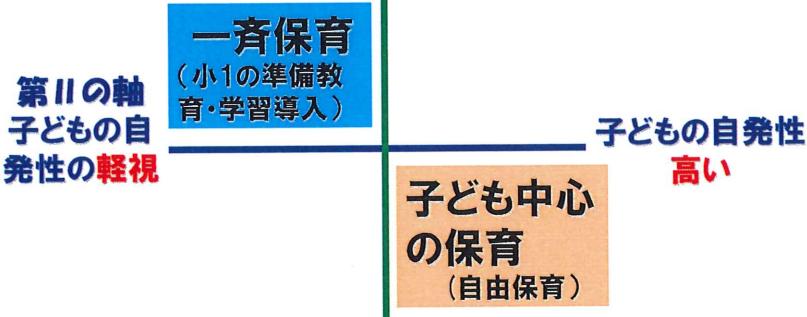
聴講した藤田琴羽さんは
「子どもへの質問の仕方や、
関わり方を学べた。これか
らの実習に生かしたい」と
意欲を見せた。企画した武
富律子教諭(42)は「なか
なか佐賀に普及していない
自由保育を、生徒たちが知
るいい機会になつた」と話
した。



「保育士の魅力」のテ
ーマで講演する内田伸
子教授=佐賀市の佐賀
女子高

資料2

第Ⅰの軸 保育者の統制が大きい



保育者の統制が小さい

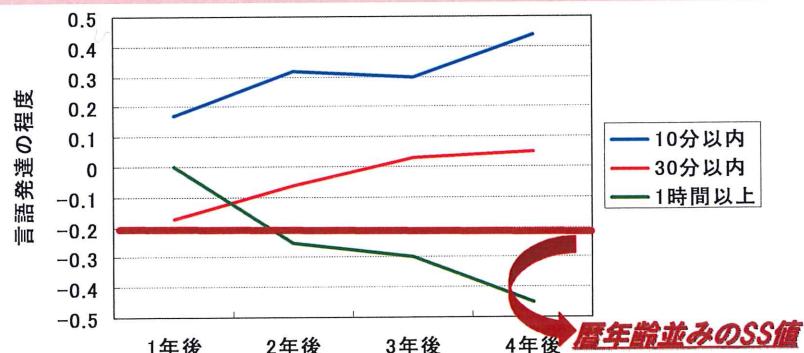
語彙力: 子どもの中心の保育 > 一斉保育

運動能力も! 子どもの中心の保育 > 一斉保育

資料3

ことばは楽しい会話を通して習得する

生後6ヶ月～10ヶ月間DVDを視聴させると……
(Zimmerman, Christakis & Meltzoff, 2007)



教え込みやドリル学習は百害あって一利なし!
言語理解を司る言語野(ウェルニツケ野)の萎縮

スマフォに子守をさせないで!